授業科目名・形態	疫学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	三上　聖治	実務経験の有無	無	開講期	3年前期
科目ナンバリング	N3-3012pmht				

【授業の主題】

疫学の基礎を学び、人間集団の中で起こりうる様々な健康関連の問題を理解しながら問題解決のために必要な対策を樹立できる能力を習得する

【到達目標】

1. 疫学の定義と集団に関する考え方を理解する。
2. 曝露効果について論理的な考え方を身につける。
3. 誤差要因とその対策について理解する。
4. 疫学調査の具体的な目標、計画の設計と分析の理解ができる。
5. 調査、研究の倫理についての理解を深める。

【授業計画・内容】

第1回　疫学事始め	疫学の特徴と疫学的な考え方について学習する。
第2回　5つのW-bridge (What, Who について)	疫学の対象について学習する。
第3回　5つのW-bridge (Where, When, Why について)	疫学的な事象についての論理的な考察を学習する。
第4回　疫学研究の種類	疫学研究の種類、方法、利点、欠点について学習する。
第5回　記述疫学	記述疫学の実際と利点、限界について学習する。
第6回　分析疫学と推測統計学	分析疫学の手法と統計学の関連について学習する。
第7回　横断研究と生態学的研究	観察研究の横断研究と生態学的研究の手法、利点、欠点について学習する。
第8回　症例対照研究	症例対照研究の手法、利点、欠点について学習する。
第9回　コホート研究	コホート研究の手法、利点、欠点について学習する。
第10回　交絡因子とその調整方法	誤差の種類とその対策について学習する。
第11回　実験疫学と介入研究	介入研究の種類と方法、その実例について学習する。
第12回　疫学指標	曝露効果の指標について学習する。
第13回　スクリーニング	2次予防の効果判定について学習する。
第14回　国内外の著名な疫学研究	疫学研究の実例と成果について解説する。
第15回　疫学研究と倫理	研究倫理の必要性と倫理審査の実際について学習する。

【授業実施方法】

プレゼンテーションツールや配布物による講義が中心であるが、学生の理解度を調べるために演習も一部実施する

【事前・事後学習】

初めて出てくる用語にチェックを入れること。日頃から感染症や生活習慣病に関心を持ち、情報の更新に努める。
事前学習および復習を毎回2時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

公衆衛生学、保健統計学、統計学、疾病論

【教科書等】

大木　秀一著　基本からわかる看護疫学入門　医歯薬出版

【参考文献】

日本疫学会　監修　はじめて学ぶやさしい疫学　南江堂、厚生統計協会　国民衛生の動向

【成績評価方法】

授業の応対（10%）、レポート（40%）、試験（50%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

研究者として、実際に調査した内容、成果について授業で紹介する。

【学生へのメッセージ】

感染症や非感染性疾患の現状と関連する事象を挙げてどのようなアプローチを行うべきかの方法論を説明します。日頃から単なる関連なのか因果関係なのかについて考えましょう。看護学や保健学研究の基礎となる具体的な研究計画、データ収集、分析方法について学ぶ学問です。EBN の実践のコアとしての応用が期待されます。